

令和2年度事業計画・収支予算

令和2年度は、各事業に取り組む際には、新型コロナウイルス感染症の状況に十分留意した上で実施することとする。

I かながわ地球環境保全推進会議等の運営

総会、幹事会、各部会、点検・改善委員会の運営を行う。

1 総会、幹事会、各部会の運営

- (1) 総会 第1回 令和2年8月中下旬【書面開催】
年1回程度開催
- (2) 幹事会 第1回 令和2年7月下旬【書面開催】
年2回程度開催
- (3) 部会 県民部会、企業部会、行政部会、実践行動部会において、
会議や意見交換会等を開催

2 点検・改善委員会の運営

委員会 令和2年4月下旬及び7月上旬【書面開催】
令和2年度の活動に関する提言

II 「私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ」推進事業

引き続き改訂新アジェンダ21 かながわ「私たちの環境行動宣言 かながわエコ10トライ」(以下、「エコ10トライ」)の普及を図る。

また、温室効果ガスの削減に貢献するため、地球環境への負荷が少ない脱炭素社会への転換に向けたライフスタイルやビジネススタイルの実践を県民等に呼びかける。

1 かながわエコ10トライの普及

県内の大学、環境団体、事業所等様々な主体との連携を深め、「マイエコ10宣言」を呼びかけ、「エコ10トライ」の普及を進めるとともに、地球環境保全の取組の実践を推進する。

2 普及啓発イベントの開催

(1) 「地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2020」の開催【中止】

「地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2020」を開催し、地球環境保全に関する普及啓発を行う。

例年5月に開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は中止とする。

(2) 市町村、企業等の環境イベント等への出展

市町村や企業等の実施する環境イベント等に出展し、マイエコ10宣言の普及を行う。

3 各部会の活動

- ・ 地球環境保全活動に関する先進事例の共有方法や、次世代を担う若年層に対するフォローアップの推進方策について、部会間で連携して検討する。
- ・ 「2050年脱炭素社会の実現」に向けて、企業や家庭における取組の推進方策について、部会間で連携して検討する。
- ・ 適応策への理解を深め、取組が促進されるよう、企業や家庭における適応策の普及に努める。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による影響や、超高齢化社会・在留外国人の増加など、社会情勢の変化に対応した地球環境保全活動のあり方について、部会間で連携して検討する。
- ・ 実践行動部会の活動等を通じて地域における地球環境保全活動の掘り起こしを行い、「エコ10トライ」の取組を普及する。

4 かながわ地球環境賞の実施

地球環境保全に向けた地域からの着実な行動の推進及びその意識の高揚を図るため、「エコ10トライ」の趣旨に沿って実践的な活動を行っている団体または個人を表彰する。【共催：神奈川県】

5 脱炭素社会の実現に向けた実践の促進

(1) マイアジェンダ登録者・マイエコ10宣言者へのフォローアップの実施

マイアジェンダ登録者及びマイエコ10宣言者のうち希望者に対し、メールマガジン「エコ10だより」を発行し、県内の環境活動の取組や環境情報を発信する。

(2) 構成団体向け「エコ10トライ」に係るアンケート調査の実施

構成団体及び傘下の企業や団体等の構成員に対し、アンケート調査を行うなど働きかけを行い、「エコ10トライ」の普及を図る。

(3) 「エコ10トライ」に係る意識行動調査等の実施

「エコ10トライ」をより効果的に普及する方策として、県民に対し、地球温暖化対策や地球環境保全の取組に関するアンケート等の取組を行う。

(4) 「2050年脱炭素社会の実現」に向けた取組の推進

「2050年脱炭素社会の実現」に向けた取組について、新型コロナウイルスが与える影響などを踏まえ、部会間で連携して推進する。

(5) 再生可能エネルギーの導入促進

すべての構成団体が再生可能エネルギーの導入や利用に率先して取り組むとともに、その取組が県民、企業、団体、市町村などすべての主体に一層広がるよう、普及に努める。

6 かながわ地球環境保全ポスターコンクールの実施 【中止】

ポスター等の作品制作を通じ、地球環境保全意識の高揚を図るため、県内に在住・在学の小、中、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象にポスターと標語のコンクールを実施する。【共催：神奈川県】

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は中止とする。

7 その他地球環境保全に関する事業

(1) 適応策の取組

適応策への理解を深め、取組が促進されるよう、部会間で連携して企業や家庭における適応策の普及に努める。(再掲)

(2) 地域の取組の支援

地域で活動する環境団体等と連携し、環境保全の取組の環を広げる。

(3) 社会情勢の変化を踏まえた取組

新型コロナウイルス感染症による影響や、超高齢化社会・在留外国人の増加など、社会情勢の変化に対応した地球環境保全活動のあり方について、部会間で連携して検討する。(再掲)

○ 令和2年度収支予算

1 収入の部

(単位 円)

科 目	2年度予算額 (A)	元年度予算額 (B)	差 異 (A-B)	備 考
負 担 金	980,000	980,000	0	県負担金
広 告 料 等	0	135,016	△ 135,016	かながわエコ10フェスタ出展料
雑 収 入	14	15	△ 1	預金利息
前年度繰越金	336,236	273,889	62,347	
計	1,316,250	1,388,920	△ 72,670	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	2年度予算額 (A)	元年度予算額 (B)	差 異 (A-B)	備 考
推進会議運営費	150,000	301,000	△ 151,000	
総会、幹事会、部会開催	110,000	260,000	△ 150,000	会場使用料、講師謝礼等
点検・改善委員会等開催	40,000	41,000	△ 1,000	委員謝礼
かながわエコ10トライ推進事業費	1,060,000	990,000	70,000	
かながわエコ10トライの普及	250,000	350,000	△ 100,000	マイエコ10宣言用紙作成、啓発物品購入等
普及啓発イベントの開催	0	500,000	△ 500,000	かながわエコ10フェスタ開催経費
各部会の活動	70,000	70,000	0	実践行動部会活動費
かながわ地球環境賞	45,000	45,000	0	看板代
脱炭素社会の実現に向けた実践促進	670,000	0	670,000	アンケート調査経費セミナー等開催経費
その他環境保全に関する事業	25,000	25,000	0	環境団体との連携等
予 備 費	106,250	97,920	8,330	
計	1,316,250	1,388,920	△ 72,670	